

千葉県児童相談所一時保護所 第三者評価結果報告書

種別	一時保護所
----	-------

①第三者評価機関名

一般社団法人Riccolab.

②施設名等

名称：千葉県児童相談所一時保護所
施設長氏名：山口 美登里

③評価日程

利用者調査：2023年10月中旬～11月上旬
自己評価：2023年10月中旬～11月中旬
訪問調査：2024年1月16日（火）

④総評

【良い点】

○「子どもの生活を豊かなものとするため、年間を通して行事・余暇活動に力を入れている」
子どもの安全を守るのが一時保護所の役割であるため、生活時間や空間に制約が伴うことがある。そのような中でも、子どもの個性に沿った「生活のうるおい」が求められ、定員超過が常態化して困難を抱えながらも、より多くの自由時間や空間を子どもへ提供しようと協議を重ねている。令和5年度は職員2名増があり、日課のフォローに厚みが出たため、所外活動を含む余暇を増やすことができている。行事はボランティアの協力もあり、定期的に企画され、幼稚園や保育園、学校の活動と同じような経験を提供できている。余暇活動の充実は、長期一時保護児童のストレス軽減のためにも、安心・安全な生活に寄与している。

【良い点】

○「多くの教員、学習支援員を配置し、子ども一人ひとりへの手厚い学習支援を行っている」
子どものレベルに合った学習機会の展開と、在籍校と連携した教育の提供が行えるよう、10名の正規教諭が指導員として配属され、福祉職と共にそれぞれの専門性を生かして子どもの学習支援を行っている。学齢児童は、生活棟と独立した教室で男女別に授業を受けている。令和5年3月からはI.C.T.学習計画により、タブレットを利用し、学習コンテンツで授業を展開している。そして、児童の在籍校と定期的に連絡を取り、定期試験や学校行事にはできる限り参加できるように努めている。さらに、児童の学級担任の面会では、学校教材を持参してもらい学習指導（補習）をお願いする等の取り組みを進めている。

【更なる改善点】

●「改めて子どもの権利の捉え方について職員間で認識を共有し、具体的な支援方法等へ反映していくことが望まれる」

子どもへの適切な養育・支援が展開できるように、教員や保育士の有資格者を生活支援に配置し運営している。一方で、子どもの権利の捉え方や具体的な支援方法が、それぞれの職員の専門性を前提に話し合うため、共通理解が進まない状況がうかがえる。子どもの権利条約や児童福祉法等に定められた権利に基づいた実践につなげるため、改めて支援の基盤にある子どもの権利について、共通認識を高める取り組みの充実が望まれる。

【更なる改善点】

●「障害のある子どもへの生活支援について、更に専門性を高めて取り組んでいくことが期待される」
障害児の受け入れについては、一時保護の子どもが定員を超えることが常態化しており、集団生活が困難な子どもでも、他の子どもと同じように対応せざるを得ない状況がうかがえる。個別ケアを対応できる時もあるが、日々の活動量が少なくストレスにつながることもある。一時保護所での対応が難しい子どもは、一時保護委託したくても受け入れ施設がないのが現状である。また、常に流動的である集団の中で、障害のある子どもの特性を理解させるのは困難な状況である。特別支援が必要な子どもへの理解と対応について、専門性と意識向上を図ることが課題となっている。

実施状況

【判断基準】ごとに、○（できている）、△（できていないところがある）、×（できていない）のいずれかを選択

評価基準

s：他一時保護所が、参考にできるような取組みが行われている状態
a：よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
b：「a」に向けた取組みの余地がある状態
c：「b」以上の取組みとなることを期待する状態

⑤第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（一時保護所）

共通評価基準（64項目）

I 子ども本位の養育・支援（14項目）

1 子どもの権利保障（NO.1~11）

[No. 1] 子どもの権利について、子どもに対して適切に説明されているか		第三者 評価結果
	[No. 1] 子どもの権利について、子どもに対して適切に説明されているか	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利について、子どもの年齢や理解に応じて、分かりやすく説明しているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利が侵害された時の相談先及びその方法を説明しているか	△
【コメント】		
子どもの権利ノートを用いて、インテークの際や子どもが不安を抱く場面で改めて権利について説明する機会を持っている。また、入所のしおりで生活ルールや日課を伝える場面でも説明しているが、権利の説明方法が職員により相違がみられる等、権利の捉え方についての標準化が十分図られてないため、今後、共通認識を図っていくことが期待される。		
[No. 2] 子どもの意見等が尊重される仕組みがあるか		第三者 評価結果
	[No. 2] 子どもの意見等が尊重される仕組みがあるか	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの意見・要望・苦情等が適切に表明されるような配慮を行っているか	△
	<input type="checkbox"/> 子どもの意見を尊重して一時保護等の質の向上を図る取組が行われているか	△
【コメント】		
子ども全体の意向を確認する機会として、年2回、子ども会議を始めたり、意見箱を設置して文書で意見を提出できる環境を用意している。ただし、実際にはこれらの取り組みでの意見の抽出が進んでいないため、子ども会議の実施方法等のさらなる充実や、意見箱のそばに筆記用具を備え付けて提出しやすくする等、機能するためのさらなる取り組みが望まれる。		
[No. 3] 保護開始にあたり、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか		第三者 評価結果
	[No. 3] 保護開始にあたり、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか	b
	<input type="checkbox"/> 一時保護の理由や目的、一時保護所での生活等について、子どもの年齢や理解に応じて分かりやすく説明し、理解を得ているか	△
	<input type="checkbox"/> 不服申し立ての方法等について、保護者に示しているか	○
【コメント】		
保護開始にあたり、入所のしおりに用いて説明する等、一連のしくみをマニュアル化し、担当する職員が子どもの理解度を確認しながら進めることで、子供の不安軽減につながるよう努めている。なお、障害のある子どもの特性に応じた具体的な説明・支援方法について、整備していくことが期待される。		

[No. 4] 保護期間中に、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか		第三者 評価結果
[No. 4]	保護期間中に、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか	a
	保護期間中に、適宜子どもに対して、現状や見通しについて説明をしているか	○
【コメント】		
一時保護解除の見直しについて、子どもに時期等を直接説明することが難しい中で、児童相談所の児童福祉司や児童心理司と担当職員が会議を開き、子どもへ伝えられる範囲等を決めて説明している。適宜、保護者との面談結果を伝えたり、安全な環境で暮らせるように関係者が全力で動いていること等を伝え、子どもに理解を促している。		
[No. 5] 保護解除について、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか		第三者 評価結果
[No. 5]	保護解除について、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか	a
	<input type="checkbox"/> 一時保護の解除にあたっては、子どもの意向、意見や気持ちを十分に聞いているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等の意見等を踏まえ、一時保護解除時期、解除後の生活等について十分に検討しているか	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護解除について、伝える時期に十分に配慮しているか	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護解除の理由、解除後の生活等を十分に伝え、子どもが納得できるよう対応しているか	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託や施設入所等に移行する子どもには、新たな養育場所に関する情報提供、心のケア等を行っているか	○
【コメント】		
一時保護解除に向けて、担当職員間で情報共有しながら、子どもへ伝える時期等を十分配慮しつつ進めている。また、家庭復帰や里親委託、施設入所等、それぞれの生活への移行に向けて、子どもが前向きに捉えられるような関わりを重視し、支援にあたっている。		
[No. 6] 保護解除に向けて、子どもに対して必要な支援を行っているか		第三者 評価結果
[No. 6]	保護解除に向けて、子どもに対して必要な支援を行っているか	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが年齢に応じてSOSが出せるよう、エンパワメントを行っているか	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護解除後も、相談や支援をしていくことを分かりやすく伝えているか	○
【コメント】		
一時保護解除後も、関わりが続くことを子どもへ伝えることで、安心感が高まるようにしている。また、移行後、1～2週間以内に子どもと会うことを基本とする等、相談できる機会を用意している。		
[No. 7] 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限は適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 7]	外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限は適切に行われているか	b
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限は、子どもの安全の確保が図られ、かつ一時保護の目的が達成できる範囲で必要最小限となっているか	△
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限を行う場合には、子どもの安全確保のため必要である旨を子どもや保護者に説明しているか	△
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限を行う場合には、理由や経過等に関する記録を留めているか	△
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等の制限が不要な子どもについて、不要な制限がされないよう一時保護委託等を含めた十分な検討が行われているか	△
【コメント】		
子どもの通学については実施が難しいが、合唱コンクールや校外学習等に参加できるように、学校側と連携して具体的な実施スケジュール等を明確にして進めている。今後は、オンライン学習や定期テストを学校で受ける等、学習面で子どもが学校とつながる機会をさらに持てるように取り組んでいくことが期待される。		

[No. 8] 被措置児童等の虐待防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 8]	被措置児童等の虐待防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか	b
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待があった場合に、すぐに職員に相談できること、児童相談所等に連絡ができることについて、あらかじめ子どもに説明しているか	△
	<input type="checkbox"/> 万一、子どもの権利が侵害される事態が生じたときの対応は適切に行われているか	△
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の防止に努める取組等を行っているか	△
【コメント】		
業務マニュアルで「子どもの権利擁護」を掲げ、子どもの権利条約や児童福祉法、児童相談所運営指針の抜粋を示し、職員へ周知している。ただし、子どもからの相談への具体的な対応方法や、速やかに第三者委員等へ相談する等の仕組みが曖昧であるため、改めて整備し、職員間で共通理解を深めていくことが期待される。		
[No. 9] 子ども同士での暴力等の防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 9]	子ども同士での暴力等の防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか	a
	<input type="checkbox"/> 子ども同士での権利侵害がある場合は、すぐに職員に相談することをあらかじめ伝えているか	○
	<input type="checkbox"/> 子ども同士での権利侵害がある場合に、すぐに対応できる体制を確保しているか	○
	<input type="checkbox"/> 子ども同士での権利侵害など、子どもの健全な発達を阻害する事態の発生防止のための取組を行っているか	○
【コメント】		
子ども同士でトラブルが発生した場合には、その日のうちに解決するように努め、難しい場合には引き継ぎを行い、統一的な対応に努めている。子どもに対しても、権利侵害があった場合に必ず職員に伝えるように働きかけ、情報が埋もれることがないように取り組んでいる。		
[No. 10] 思想や信教の自由の保障が適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 10]	思想や信教の自由の保障が適切に行われているか	a
	<input type="checkbox"/> 文化、慣習、宗教等による食習慣や日課の違いなどを尊重した対応をしているか	○
【コメント】		
一時保護開始時に、子どもの思想や信教の自由に関係する情報を把握しており、必要に応じて、食事の対応や、お祈りの時間と場所を確保する等、個別に対応している。		
[No. 11] 性的なアイデンティティへの配慮が適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 11]	性的なアイデンティティへの配慮が適切に行われているか	b
	<input type="checkbox"/> 性的なアイデンティティに配慮した対応をしているか	△
【コメント】		
性的なアイデンティティへの対応については、個別対応に努めている一方で、LGBTQに関する職員の専門性を高めるために学びの機会を用意したり、具体的な対応方法をマニュアル化する等の取り組みには至っていないため、今後、進めていくことが期待される。		

2 養育・支援の基本 (NO.12~14)

[No. 12] 子どもとの関わりにおいて、子どもが安全感・安心感・信頼感を持てる養育・支援を行っているか		第三者 評価結果
[No. 12]	子どもとの関わりにおいて、子どもが安全感・安心感・信頼感を持てる養育・支援を行っているか	b
	<input type="checkbox"/> 一時保護の受入れ可否を子どもの安全の視点で判断しているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの接し方、対応は適切であるか	△
	<input type="checkbox"/> 子どもが安全感や安心感、信頼感を持てる保護や支援を行っているか	△
	<input type="checkbox"/> 全ての子どもが被害を受けている、コミュニケーションに問題がある可能性を考慮したケアが行えているか	△
	<input type="checkbox"/> プライバシーに配慮すべき場面では、適切な対応を行っているか	△
【コメント】		
子ども一人ひとりへの接し方について、職員同士で話し合いながら方針を決めて進めている。一方で、子どもを集団として捉えて対応する場面がみられる等、十分に子ども一人ひとりの気持ちを確認する時間がとれていない状況がうかがえる。引き続き、職員のスキルアップに努めていくことが望まれる。		
[No. 13] 子どものエンパワメントにつながる養育・支援を行っているか		第三者 評価結果
[No. 13]	子どものエンパワメントにつながる養育・支援を行っているか	a
	<input type="checkbox"/> 「あなたは大切な存在である」ことを言葉・行動でメッセージとして伝えているか	○
	<input type="checkbox"/> 表現の機会を多くつくり、それを受け止められる体験を通して、自己表現を促しているか	○
【コメント】		
子どもの作品を学習室内に掲示したり、得意なことを表現する機会を用意する等で、達成感や自己肯定感が高まるように取り組んでいる。また、日記を通して、各職員が励ましのメッセージを添える等、個別のやりとりを通して、大切な存在であること等、子どもの理解が進むように取り組んでいる。		
[No. 14] 子どもからの聞き取り等にあたり、子どもへの配慮や説明などが適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 14]	子どもからの聞き取り等にあたり、子どもへの配慮や説明などが適切に行われているか	a
	<input type="checkbox"/> 子どもからの聞き取りにあたっては、子どもの人権等への配慮を十分に行っているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもから聞いた話を、職員間及び担当児童福祉司と共有することを説明しているか	○
【コメント】		
子どもが生活を送る中で、気持ちや行動に変化がみられた場合に、適宜、担当する職員が面談する時間を持っている。話しやすい場所や質問方法等に配慮しつつ、把握した情報を職員間で共有し、具体的な関わり方を決めて支援を進めている。		

II 一時保護の環境及び体制整備（15項目）

1 適切な施設・環境整備（NO.15~17）

[No. 15] 一時保護所としての設備運営基準は遵守されているか	第三者 評価結果														
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="355 264 1289 331">[No. 15] 一時保護所としての設備運営基準は遵守されているか</td> <td data-bbox="1289 264 1402 331">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 331 1289 398">□子どもの保護ができる場が用意できているか</td> <td data-bbox="1289 331 1402 398">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 398 1289 465">□開放的環境における対応が可能となっているか</td> <td data-bbox="1289 398 1402 465">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 465 1289 533">□一時保護所の設備及び運営基準は、児童養護施設について定める設備運営基準を遵守しているか</td> <td data-bbox="1289 465 1402 533">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 533 1289 595">□プライバシーに配慮した居室空間が提供されているか</td> <td data-bbox="1289 533 1402 595">△</td> </tr> </table>	[No. 15] 一時保護所としての設備運営基準は遵守されているか	b	□子どもの保護ができる場が用意できているか	△	□開放的環境における対応が可能となっているか	△	□一時保護所の設備及び運営基準は、児童養護施設について定める設備運営基準を遵守しているか	△	□プライバシーに配慮した居室空間が提供されているか	△					
[No. 15] 一時保護所としての設備運営基準は遵守されているか	b														
□子どもの保護ができる場が用意できているか	△														
□開放的環境における対応が可能となっているか	△														
□一時保護所の設備及び運営基準は、児童養護施設について定める設備運営基準を遵守しているか	△														
□プライバシーに配慮した居室空間が提供されているか	△														
【コメント】															
定員を設定し、設備運営基準に則した環境となるように取り組んでいる。ただし、定員超過が常態化しており、子どものプライバシー空間の確保が難しい居室空間の中での生活が続いており、カーテンで仕切る等の工夫がみられるが、十分な環境を提供できていない状況は改善が望まれる。															
[No. 16] 一時保護所は、個別性が尊重される環境となっているか	第三者 評価結果														
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="355 824 1289 891">[No. 16] 一時保護所は、個別性が尊重される環境となっているか</td> <td data-bbox="1289 824 1402 891">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 891 1289 958">□個別性が尊重される日課・ルール・環境となっているか</td> <td data-bbox="1289 891 1402 958">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 958 1289 1025">□必要な子どもに対し、個室を提供できる環境があるか</td> <td data-bbox="1289 958 1402 1025">×</td> </tr> </table>	[No. 16] 一時保護所は、個別性が尊重される環境となっているか	c	□個別性が尊重される日課・ルール・環境となっているか	△	□必要な子どもに対し、個室を提供できる環境があるか	×									
[No. 16] 一時保護所は、個別性が尊重される環境となっているか	c														
□個別性が尊重される日課・ルール・環境となっているか	△														
□必要な子どもに対し、個室を提供できる環境があるか	×														
【コメント】															
高校生に個室を用意することを基本にしている一方、実際には難しい状況がうかがえる。また、小中学生についても、特性上、個室での暮らしや、個別対応が必要と判断しても実施できない現状は改善が急務である。															
[No. 17] 一時保護所内の生活環境が適切に整備されているか	第三者 評価結果														
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="355 1254 1289 1321">[No. 17] 一時保護所内の生活環境が適切に整備されているか</td> <td data-bbox="1289 1254 1402 1321">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1321 1289 1388">□安心して生活できる環境が確保されているか</td> <td data-bbox="1289 1321 1402 1388">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1388 1289 1456">□日常的に清掃等がされ、衛生的な環境が維持されているか</td> <td data-bbox="1289 1388 1402 1456">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1456 1289 1523">□家庭的な環境となるような工夫がされているか</td> <td data-bbox="1289 1456 1402 1523">×</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1523 1289 1590">□生活環境として必要な設備や什器備品等が整備されているか</td> <td data-bbox="1289 1523 1402 1590">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1590 1289 1657">□必要な修繕等が行われているか</td> <td data-bbox="1289 1590 1402 1657">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="355 1657 1289 1720">□生活場面の中で、どんな外風景が見えるのか</td> <td data-bbox="1289 1657 1402 1720">△</td> </tr> </table>	[No. 17] 一時保護所内の生活環境が適切に整備されているか	c	□安心して生活できる環境が確保されているか	△	□日常的に清掃等がされ、衛生的な環境が維持されているか	△	□家庭的な環境となるような工夫がされているか	×	□生活環境として必要な設備や什器備品等が整備されているか	△	□必要な修繕等が行われているか	△	□生活場面の中で、どんな外風景が見えるのか	△	
[No. 17] 一時保護所内の生活環境が適切に整備されているか	c														
□安心して生活できる環境が確保されているか	△														
□日常的に清掃等がされ、衛生的な環境が維持されているか	△														
□家庭的な環境となるような工夫がされているか	×														
□生活環境として必要な設備や什器備品等が整備されているか	△														
□必要な修繕等が行われているか	△														
□生活場面の中で、どんな外風景が見えるのか	△														
【コメント】															
居住スペースと共用スペースともに、子ども的人数に対して空間が狭いことや、物品を収納するスペースが少なく、廊下などに置かれており、家庭的な環境とは言えない状況となっている。なお、掲示物や生き物を飼育する等で、できる限り、あたたかい雰囲気作りに取り組んでいる。															

2 管理者の責務 (NO. 18)

[No. 18] 管理者としての役割が明確になっており、その責務が全うされているか	第三者 評価結果								
<table border="1"> <tr> <td>[No. 18] 管理者としての役割が明確になっており、その責務が全うされているか</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 管理者が一時保護所の管理・運営をリードするための環境が整っているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 管理者のリーダーシップのもとでの管理運営が行われているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> スーパーバイズができていますか</td> <td>△</td> </tr> </table>	[No. 18] 管理者としての役割が明確になっており、その責務が全うされているか	b	<input type="checkbox"/> 管理者が一時保護所の管理・運営をリードするための環境が整っているか	△	<input type="checkbox"/> 管理者のリーダーシップのもとでの管理運営が行われているか	△	<input type="checkbox"/> スーパーバイズができていますか	△	
[No. 18] 管理者としての役割が明確になっており、その責務が全うされているか	b								
<input type="checkbox"/> 管理者が一時保護所の管理・運営をリードするための環境が整っているか	△								
<input type="checkbox"/> 管理者のリーダーシップのもとでの管理運営が行われているか	△								
<input type="checkbox"/> スーパーバイズができていますか	△								
【コメント】									
<p>班長、副班長等の職務内容や職員全体の運営体制を明確にし、それぞれ職員を配置して進めている。ただし、一時保護所の定員超過が常態化していることを加味した体制の見直しや、スーパーバイズする方法の確立等を図り、役職者が適切に行動できるように整えていくことが期待される。</p>									

3 適切な職員体制 (NO. 19~25)

[No. 19] 一時保護所として、必要な適切な職員体制が確保されているか	第三者 評価結果								
<table border="1"> <tr> <td>[No. 19] 一時保護所として、必要な適切な職員体制が確保されているか</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 受入をする子どもの人数、年齢、状況に応じた、必要な職員が配置されているか</td> <td>△</td> </tr> </table>	[No. 19] 一時保護所として、必要な適切な職員体制が確保されているか	b	<input type="checkbox"/> 受入をする子どもの人数、年齢、状況に応じた、必要な職員が配置されているか	△					
[No. 19] 一時保護所として、必要な適切な職員体制が確保されているか	b								
<input type="checkbox"/> 受入をする子どもの人数、年齢、状況に応じた、必要な職員が配置されているか	△								
【コメント】									
<p>幼児のみの生活場所と、小学生以上の生活場所の2カ所に分かれて支援しており、幼児については保育士を中心に配置している。ただし、子どもの受け入れ状況によっては保育士が小学生以上の生活場所で支援にあたる場合がある等、想定した職員体制が維持された中での支援が難しい状況がみられている。</p>									
[No. 20] 各職種の役割や求められる専門性・能力を考慮した人員配置が行われているか	第三者 評価結果								
<table border="1"> <tr> <td>[No. 20] 各職種の役割や求められる専門性・能力を考慮した人員配置が行われているか</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 各職種の役割や権限、責任が明確になっているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 専門性を要する役割には、必要な能力等を有する職員が配置されているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 相談援助活動の一貫性を保つよう努めているか</td> <td>○</td> </tr> </table>	[No. 20] 各職種の役割や求められる専門性・能力を考慮した人員配置が行われているか	b	<input type="checkbox"/> 各職種の役割や権限、責任が明確になっているか	△	<input type="checkbox"/> 専門性を要する役割には、必要な能力等を有する職員が配置されているか	△	<input type="checkbox"/> 相談援助活動の一貫性を保つよう努めているか	○	
[No. 20] 各職種の役割や求められる専門性・能力を考慮した人員配置が行われているか	b								
<input type="checkbox"/> 各職種の役割や権限、責任が明確になっているか	△								
<input type="checkbox"/> 専門性を要する役割には、必要な能力等を有する職員が配置されているか	△								
<input type="checkbox"/> 相談援助活動の一貫性を保つよう努めているか	○								
【コメント】									
<p>さまざまな特性の子どもを受け入れている中で、特別支援が必要な子どもに対して適切に対応できる専門性を有する職員の配置や、所属のない高校生への就労支援を担う職員の配置等、具体的な支援ニーズに対応できる体制構築が期待される。</p>									

[No. 21] 情報管理が適切に行われているか		第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td>[No. 21] 情報管理が適切に行われているか</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 個人情報適切に取り扱われているか</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 情報の重要性や機密性を踏まえた管理を行っているか</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 書類や記録等が適切に管理・更新されているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 子どもに関する情報について、外部機関と共有する必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得ているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 情報管理に関する職員の理解・周知の取組を行っているか</td> <td>△</td> </tr> </table>		[No. 21] 情報管理が適切に行われているか	b	<input type="checkbox"/> 個人情報適切に取り扱われているか	○	<input type="checkbox"/> 情報の重要性や機密性を踏まえた管理を行っているか	○	<input type="checkbox"/> 書類や記録等が適切に管理・更新されているか	△	<input type="checkbox"/> 子どもに関する情報について、外部機関と共有する必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得ているか	△	<input type="checkbox"/> 情報管理に関する職員の理解・周知の取組を行っているか	△	
[No. 21] 情報管理が適切に行われているか	b													
<input type="checkbox"/> 個人情報適切に取り扱われているか	○													
<input type="checkbox"/> 情報の重要性や機密性を踏まえた管理を行っているか	○													
<input type="checkbox"/> 書類や記録等が適切に管理・更新されているか	△													
<input type="checkbox"/> 子どもに関する情報について、外部機関と共有する必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得ているか	△													
<input type="checkbox"/> 情報管理に関する職員の理解・周知の取組を行っているか	△													
【コメント】 蓄積される情報のうち、紙媒体の資料には子どもの名前を載せない等、一定のルールを定めて取り扱っている。なお、不要なデータの消去が徹底されない状況等がみられる。今後は、定期的に各職員の情報管理状況を振り返る機会を用意する等により、意識を高めていくことが期待される。														
[No. 22] 職員の専門性の向上及び意識共有のための取組が適切に行われているか		第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td>[No. 22] 職員の専門性の向上及び意識共有のための取組が適切に行われているか</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一時保護に従事するものとして、守るべき法・規範・倫理等を全職員が理解するための取組が行われているか</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 職員の専門性の向上を図るための計画的な取組が行われているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの育成に向けた取組が実施されているか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 職員間での指導・育成を行う仕組みがあるか</td> <td>△</td> </tr> </table>		[No. 22] 職員の専門性の向上及び意識共有のための取組が適切に行われているか	b	<input type="checkbox"/> 一時保護に従事するものとして、守るべき法・規範・倫理等を全職員が理解するための取組が行われているか	○	<input type="checkbox"/> 職員の専門性の向上を図るための計画的な取組が行われているか	△	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの育成に向けた取組が実施されているか	△	<input type="checkbox"/> 職員間での指導・育成を行う仕組みがあるか	△			
[No. 22] 職員の専門性の向上及び意識共有のための取組が適切に行われているか	b													
<input type="checkbox"/> 一時保護に従事するものとして、守るべき法・規範・倫理等を全職員が理解するための取組が行われているか	○													
<input type="checkbox"/> 職員の専門性の向上を図るための計画的な取組が行われているか	△													
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの育成に向けた取組が実施されているか	△													
<input type="checkbox"/> 職員間での指導・育成を行う仕組みがあるか	△													
【コメント】 月1回、一時保護所の職員が集まる会議を開催しており、その後の時間に研修を実施している他、県内の児童相談所と連携して学びを深める機会を用意している。ただし、OJTのしくみやチューター制度の導入等、職員一人ひとりの育成を計画的に進める仕組みが十分整備されていないため、今後、確立していくことが期待される。														
[No. 23] 職員間での情報共有・引継等が適切に行われているか		第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td>[No. 23] 職員間での情報共有・引継等が適切に行われているか</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 職員間での情報共有や引継等の仕組みがあるか</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 職員間で共有・引継する情報の内容は適切か</td> <td>○</td> </tr> </table>		[No. 23] 職員間での情報共有・引継等が適切に行われているか	b	<input type="checkbox"/> 職員間での情報共有や引継等の仕組みがあるか	△	<input type="checkbox"/> 職員間で共有・引継する情報の内容は適切か	○							
[No. 23] 職員間での情報共有・引継等が適切に行われているか	b													
<input type="checkbox"/> 職員間での情報共有や引継等の仕組みがあるか	△													
<input type="checkbox"/> 職員間で共有・引継する情報の内容は適切か	○													
【コメント】 事業所では引継ぎノートに健康面、生活の様子を記入して、日直者が一日に一回以上その情報をシステムに入力している。毎週、行動観察会議でその情報をもとに児童状況を分析して、援助方針や日々の支援に生かしている。相談部門との情報共有に課題があり、ITのツール等を活用して、更なる情報共有に期待したい。														

[No. 24] 児童福祉司や児童心理司との連携が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 24] 児童福祉司や児童心理司との連携が適切に行われているか	b
<input type="checkbox"/> 一時保護所は、児童福祉司と密接な連携が保てる範囲に設置されているか	○
<input type="checkbox"/> 入退所時や入所中の調査、診断、支援等について、児童福祉司・児童心理司やその他の各部門と十分な連携を図っているか	△

【コメント】

一時保護所と児童福祉司、児童心理司の事務所は同一敷地内にあり、相互の連絡、情報把握は取りやすい環境にある。子どもの行動観察は入所と同時にすべての場面、機会を通じて進められている。担当児童福祉司、児童心理司が面接を実施した前後には、保護所職員の視点で子どもの心情の変化を把握して担当児童福祉司等と情報を共有して面接記録の作成や、当日勤務リーダーに面接の様子を伝えるなど、相互連携の強化を期待したい。

[No. 25] 職場環境としての法令遵守や環境改善に取り組んでいるか	第三者 評価結果
[No. 25] 職場環境としての法令遵守や環境改善に取り組んでいるか	b
<input type="checkbox"/> 適正な就業状況が確保されているか	△
<input type="checkbox"/> 職員が働きやすい職場環境づくりの取組みがなされているか	△
<input type="checkbox"/> 福利厚生施設の充実に取り組んでいるか	△

【コメント】

今年度2名の職員増があり、学習や生活指導が安定してきている。ただし、定員を大幅に越える入所児童と個別日課が必要な子どもが10名ほどいる状況を抱えており、職員の負担は大きい。年休取得の目標値を掲げてワークライフバランスに配慮した職場環境づくりに努めている。

4 関係機関との連携 (NO. 26~29)

[No. 26] 医療機関との連携が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 26] 医療機関との連携が適切に行われているか	b
<input type="checkbox"/> 必要な場面で、医療機関からの協力がえられているか	△
<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じ、児童福祉司や生活支援担当者、児童心理司、医師などのチームケアを行える体制があるか	△

【コメント】

4名の看護師(会計年度任用職員)が配置されている。併せて、相談部門の保健師が感染症予防や性的知識学習に協力している。入所前からの通院や治療が必要な子どもへの対応は、看護師や児童福祉司、児童心理司が協力して当たっている。近隣にかかりつけ医療機関が確保されているものの、児童精神科医の開拓と連携等が望まれる。

[No. 27] 警察署との連携が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 27] 警察署との連携が適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 警察署との連携が日頃から行われているか	○
<input type="checkbox"/> 警察の面接等にあたっては、子どもの成長・発達状況や心身の負担に十分に配慮するよう警察と十分に調整を行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもに対し、警察が面接等を行う場合には、可能な限り協力しているか	○

【コメント】

無断外出や緊急事態が発生した場合に迅速な連携が図れるように、日頃から管内の警察署と協力関係を保っている。職員は一時保護所内のマニュアルで、警察からの児童情報問い合わせや、身柄通告児童等があった場合の対応に備えて勤務している。身柄通告児童を受け取る際には子どもの不安を軽減するために、一時保護の納得度、保護期間の見通し、生活の送り方などについて、どこまで認識しているかを警察官と共に丁寧に子どもへ確認するように心がけて取り組んでいる。

[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか	第三者 評価結果		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 170 1289 235">[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか</td> <td data-bbox="1289 170 1390 235">a</td> </tr> </table>	[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか	a	
[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか	a		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 235 1289 300">□移行前に、子どもが安心感を持てるように配慮しているか</td> <td data-bbox="1289 235 1390 300">○</td> </tr> </table>	□移行前に、子どもが安心感を持てるように配慮しているか	○	
□移行前に、子どもが安心感を持てるように配慮しているか	○		
【コメント】			
<p>里親委託措置、施設入所にあたっては、子どもが環境変化に対する不安や家族との生活を失うことの悲しみなどを抱きやすいため、情緒的配慮が大切となるため、行動観察結果等の必要な情報は積極的に提供している。また、措置前の面接や措置先への外泊体験などを複数回行っていることや、インテーク時には職員もつき添って支援するなど、良好な関係を築けるように心がけている。</p>			
[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか	第三者 評価結果		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 555 1289 620">[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか</td> <td data-bbox="1289 555 1390 620">a</td> </tr> </table>	[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか	a	
[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか	a		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 620 1289 685">□必要な関係機関との連携を行う仕組みがある</td> <td data-bbox="1289 620 1390 685">○</td> </tr> </table>	□必要な関係機関との連携を行う仕組みがある	○	
□必要な関係機関との連携を行う仕組みがある	○		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 685 1289 750">□関係機関とのネットワークを有効に活用できている</td> <td data-bbox="1289 685 1390 750">○</td> </tr> </table>	□関係機関とのネットワークを有効に活用できている	○	
□関係機関とのネットワークを有効に活用できている	○		
【コメント】			
<p>一時保護を利用した子どもの約80%はそれまでの家庭環境に戻っている。家庭復帰でも、里親、施設入所などの場合でも、一時保護中に実施した子ども・家庭に関するアセスメント結果と退所後の援助計画を、必要に応じて要保護児童対策地域協議会の個別ケース検討会議に提供し、地域のセーフティネットを構築している。個別ケース検討会議は担当児童福祉司が、学校、保育園、福祉事務所、放課後等デイサービス、ショートステイ先等、地域で支援する機関を招集して開催している。</p>			

Ⅲ 一時保健所の運営（25項目）

1 一時保護の目的（NO. 30）

[No. 30] 一時保護の目的に即した理念・基本方針となっているか		第三者 評価結果
[No. 30] 一時保護の目的に即した理念・基本方針となっているか		a
<input type="checkbox"/> 理念・基本方針が職員に周知されているか		○
<input type="checkbox"/> 一時保護の目的（安全確保・アセスメント）に即した理念・基本方針となっているか		○
【コメント】		
年度初めに、児童相談所の理念や一時保護所運営計画を正規職員と会計年度任用職員共に全員出席の職員会議で共有している。さらに、毎月一回開催している職員会議では、短時間の研修時間を設けて周知を図っている。また、年度末には「自己点検票」を使って、子どもの権利擁護への取り組み姿勢を振り返っている。		

2 一時保護所の運営計画等の策定（NO. 31）

[No. 31] 一時保護所の年度単位での事業計画の策定や目標設定を行っているか		第三者 評価結果
[No. 31] 一時保護所の年度単位での事業計画の策定や目標設定を行っているか		b
<input type="checkbox"/> 事業計画が策定されているか		○
<input type="checkbox"/> 事業計画に基づく取り組みが実施されているか		○
<input type="checkbox"/> 事業計画の策定と評価、見直しの仕組みがあるか		○
<input type="checkbox"/> 策定にあたって、児童の意向や職員の意見、地域の福祉ニーズ等を反映できる仕組みがあるか		△
【コメント】		
毎年度、一時保護所運営計画を作成して職員会議で周知徹底を図っている。また、全職員出席による定例職員会議を毎月開催して計画の見直しをその都度行い、年度末には評価項目に沿って次年度の計画を検討している。事業所では年2回の子ども会議を開催して保護中児童の意見・要望を聞き取る仕組みがある。今後は、運営計画に子どもの意向や意見を反映させる取り組みを期待したい。		

3 一時保護の在り方（NO. 32）

[No. 32] 緊急保護は、適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 32] 緊急保護は、適切に行われているか		b
<input type="checkbox"/> 閉鎖的環境での保護期間が必要最低限となるよう適切に判断する仕組みがあるか		△
<input type="checkbox"/> 緊急保護を行うにあたり、子どもへの説明が行われているか		○
【コメント】		
緊急保護を必要とする対象児童は①棄児、迷子、家出、②虐待、③自傷、他害による危害のおそれ、④重大事件の触法少年と想定されている。保護にあたっては、「入所のしおり」や「子どもの権利ノート」により分かりやすい説明を行い子どもの納得を得るようにしている。入所前の健康、生活歴は児童福祉司が調査して、安全管理に努めている。しかし、建物の構造上、重大事件にかかわる触法少年に対応した環境がなく、改築計画が待たれる。		

4 一時保護所における保護の内容 (NO. 33~41)

[No. 33] 一時保護所における生活面のケアは、適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 33] 一時保護所における生活面のケアは、適切に行われているか <input type="checkbox"/> 個々の子どもの状態にあわせて、生活全体の場面で生活面のケアを行っているか <input type="checkbox"/> 日課構成は適切か <input type="checkbox"/> 一時保護所での生活を通して、徐々に生活習慣が身につくよう支援しているか	b △ △ ○

【コメント】

個々の児童の状態に合わせて、洗面、排せつ、食事、学習、遊び等の生活全般にわたって支援を行い、生活習慣の習得を目指している。幼児の保育日課と学齢以上の生活日課は生活場所も含めて分けて支援している。子どもの生活の様子や生活習慣の習熟状況は、毎日引継ぎ簿や観察記録から児童情報システムに編成入力されて、行動観察記録（行動診断）とし支援方針に役立てられている。なお、個別対応が難しい状況がうかがえる。

[No. 34] レクリエーションのための環境やプログラム等が適切に提供されているか	第三者 評価結果
[No. 34] レクリエーションのための環境やプログラム等が適切に提供されているか <input type="checkbox"/> レクリエーションプログラム、自由に遊びのできる空間、読書や音楽鑑賞等を楽しむことのできる環境が提供されているか <input type="checkbox"/> 子どもの年齢を考慮の上、スポーツ活動及び室内遊戯等を計画し、子どもの希望に応じて参加させるよう配慮しているか <input type="checkbox"/> 必要に応じ、事故防止に留意しつつ、野外活動等を実施することにより、子どもの安定化等に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 遊具や備品について、定期的に点検しているか	a ○ ○ ○ ○

【コメント】

年間行事計画に従って、様々な余暇活動を計画して子どもの生活に潤いをもたらし、情緒の安定を図っている。定員超過の常態化により、十分な規模の施設と機器が確保できていないが、太陽光が入る明るい体育館があり、運動環境は整っている。

[No. 35] 食事が適切に提供されているか	第三者 評価結果
[No. 35] 食事が適切に提供されているか <input type="checkbox"/> 1日3食の食事が提供されているか <input type="checkbox"/> 食事の安全・衛生が確保されているか <input type="checkbox"/> 食事アレルギーや個々の子どもの状態等に配慮した食事が提供されているか <input type="checkbox"/> おいしく食事をするための配慮がなされているか <input type="checkbox"/> 子どもが食事を楽しめるための工夫がなされているか	b ○ ○ ○ △ △

【コメント】

食事が子どもにとって楽しい時間になるように、児童と一緒に野菜を育てて食材に活用したり、管理栄養士が企画した児童と共に行うクッキング、手作りおやつを提供など食育の充実を図っている。食事場面では衛生面を重視して、今も男女2班に分かれての時間差摂取、同一方向に向かって座った黙食である。今後は、食事がおいしく感じられるような食器の品ぞろえ、子どもが職員らと楽しく語りながら摂取できる雰囲気のある食事風景を期待したい。

[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 168 1289 235">[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか</td> <td data-bbox="1289 168 1401 235">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 235 1289 302">□衣服の清潔は保たれているか</td> <td data-bbox="1289 235 1401 302">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 302 1289 369">□衣習慣が身に付くように支援しているか</td> <td data-bbox="1289 302 1401 369">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 369 1289 436">□発達段階や好みにあわせて子ども自身が選択できるようにしているか</td> <td data-bbox="1289 369 1401 436">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 436 1289 497">□必要な場合に、適切な衣服を貸与できるか</td> <td data-bbox="1289 436 1401 497">○</td> </tr> </table>	[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか	b	□衣服の清潔は保たれているか	○	□衣習慣が身に付くように支援しているか	○	□発達段階や好みにあわせて子ども自身が選択できるようにしているか	△	□必要な場合に、適切な衣服を貸与できるか	○	
[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか	b										
□衣服の清潔は保たれているか	○										
□衣習慣が身に付くように支援しているか	○										
□発達段階や好みにあわせて子ども自身が選択できるようにしているか	△										
□必要な場合に、適切な衣服を貸与できるか	○										
【コメント】											
<p>子どもに提供される衣服は職員が洗濯をして清潔に保たれ、季節に合った衣類の提供がなされている。保護児童数の超過と60日以上長期保護が常態化し、年齢も12歳から16歳の児童割合が高く、サイズ不足や児童の好みに合った衣類選択が困難になっている。職員の管理可能な範囲で、家庭からの私服持ち込みや、洗濯・保管を児童の生活能力に応じて個別日課に組み込んで行うなど、検討して改善に期待したい。</p>											
[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 734 1289 801">[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか</td> <td data-bbox="1289 734 1401 801">c</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 801 1289 869">□就寝・起床時刻は適切か</td> <td data-bbox="1289 801 1401 869">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 869 1289 929">□睡眠環境は適切か</td> <td data-bbox="1289 869 1401 929">×</td> </tr> </table>	[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか	c	□就寝・起床時刻は適切か	○	□睡眠環境は適切か	×					
[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか	c										
□就寝・起床時刻は適切か	○										
□睡眠環境は適切か	×										
【コメント】											
<p>就寝スペースが保護児童超過の常態化で、カーテン間仕切りなどの工夫では追いつかない現状がある。また、緊急時に居室以外で布団を敷いて寝ている状況がうかがえる。隣の布団と重なって就寝しているなど、安心・安全・癒しの時間を提供することが難しい実情となっている。幼児を里親に保護委託する、施設の委託先を開拓するなど、あるいは、近隣自治体間で一時保護先の広域調整を協議する等、事業所の創意工夫だけでは解決が難しい課題となっている。</p>											
[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 1167 1289 1234">[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか</td> <td data-bbox="1289 1167 1401 1234">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 1234 1289 1301">□子どもの健康状態が把握されているか</td> <td data-bbox="1289 1234 1401 1301">△</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 1301 1289 1361">□子どもの健康状態により、必要に応じて診察や処置を行っているか</td> <td data-bbox="1289 1301 1401 1361">△</td> </tr> </table>	[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか	b	□子どもの健康状態が把握されているか	△	□子どもの健康状態により、必要に応じて診察や処置を行っているか	△					
[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか	b										
□子どもの健康状態が把握されているか	△										
□子どもの健康状態により、必要に応じて診察や処置を行っているか	△										
【コメント】											
<p>4名の看護師が会計年度任用職員として配属されて健康管理にあたっている。子どもの健康情報は児童システムの健康面フォルダーに一括管理されている。併せて、相談部門の保健師が保護部門の保健指導も行って看護師と連携して健康管理に努めている。保健師は、感染症予防のアドバイスや、性病に罹患する危険性がある子どもに巡回指導でリスクを助言する等、保健衛生教育に協力している。なお、受診が遅れる場合があるため、改善が期待される。</p>											
[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 1599 1289 1666">[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか</td> <td data-bbox="1289 1599 1401 1666">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 1666 1289 1733">□子どもの状況や特性、学力に配慮した教育・学習支援を行っているか</td> <td data-bbox="1289 1666 1401 1733">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 1733 1289 1800">□在籍校との連携が図られているか</td> <td data-bbox="1289 1733 1401 1800">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="354 1800 1289 1861">□通学可能な子どもへの対応について、通学機会の確保に努めているか</td> <td data-bbox="1289 1800 1401 1861">△</td> </tr> </table>	[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか	a	□子どもの状況や特性、学力に配慮した教育・学習支援を行っているか	○	□在籍校との連携が図られているか	○	□通学可能な子どもへの対応について、通学機会の確保に努めているか	△			
[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか	a										
□子どもの状況や特性、学力に配慮した教育・学習支援を行っているか	○										
□在籍校との連携が図られているか	○										
□通学可能な子どもへの対応について、通学機会の確保に努めているか	△										
【コメント】											
<p>学校教員経験者が10名、指導員として配属されていること、教員OBの学習支援員がいることで、保護中の学習支援体制は充実している。学習場所は生活棟から離れて設けられていて、勉強に集中できる学習環境となっている。教科書に準拠したドリルを用いて、子どもの習熟度に合わせた学習を設定している。通学は難しいが、在籍校と定期的に連絡を取って、試験や学校行事には子どもの希望に沿った対応を極力行っている。</p>											

[No. 40] 未就学児に対しては適切な保育を行っているか	第三者 評価結果
[No. 40] 未就学児に対しては適切な保育を行っているか	a
<input type="checkbox"/> 保育所運営指針による保育を基本としているか	○
<input type="checkbox"/> 発達の個人差、生活環境の差異、経験の差異を考慮した保育が行われているか	○

【コメント】

未就学児は学齢児童とは独立した環境下で適切な保育が提供されている。所庭の一部は自然のままの環境で、季節によって昆虫や植物と遊ぶことができる。月間保育案を定例会議で確認し、毎日の保育が実施されている。職員は保育士リーダーを中心にケース会議を開いたり、ランチミーティングで情報を共有してチームワークの良い保育を提供している。

[No. 41] 家族等との面会や、家族等に関する情報提供等は適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 41] 家族等との面会や、家族等に関する情報提供等は適切に行われているか	b
<input type="checkbox"/> 子どもの年齢に応じ、家族に対する支援や対応に関して説明を行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもに対して行った情報提供や説明の内容について、関係者間で共有されているか	△
<input type="checkbox"/> 家族との面会等は、子どもの安全と安心、子どもの意志や気持ちを踏まえ総合的に判断されているか	○

【コメント】

子どもにとって家族との面会はとても複雑な感情を抱いて臨むこととなるため、職員は、面会前の不安を軽減するために、子どもの心情を言語化する支援（日記や文章に気持ちを書き留める。一対一で寄り添い、子どもに気持ちの整理を促す働きかけ等）を行っている。面接後は子どもと振り返りを行い、次の面接場面をイメージできるように働きかけて、子どものエンパワーメントを促している。

5 特別なケアの実施 (NO. 42~49)

[No. 42] 子どもの性的問題に対して、適切な対応が行われているか	第三者 評価結果
[No. 42] 子どもの性的問題に対して、適切な対応が行われているか	a
<input type="checkbox"/> 受入時には、多職種によるカンファレンスを行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもの問題に応じた性教育などの支援を行っているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護所の子どもの中で、性的問題行動が起きた場合には、適切な対応が行われているか	○
<input type="checkbox"/> PTSD症状、訴えがみられた場合は、迅速に児童心理司、医師に報告し、適切な対応を行っているか	○

【コメント】

子どもの受け入れ時に受理会議を開き、児童福祉司、児童心理司、保護所職員と一緒に事前情報を分析して、個別援助方針を立ててから子どもを日課に誘導している。方針決定までは個別生活の場を設けて情緒の安定を図っている。保護中に児童心理司、保健師が性教育を実施して、PTSDの症状が見られた時には、担当職員間で再アセスメントを行い、対応策を検討している。

[No. 43] 他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 168 507 235">[No. 43]</td> <td data-bbox="507 168 1289 235">他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1289 168 1402 235">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 235 1289 302">□他害や自傷行為等の逸脱行為がある又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか</td> <td data-bbox="1289 235 1402 302">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 302 1289 369">□アセスメントに基づく対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1289 302 1402 369">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 369 1289 432">□他害等の逸脱行動があった場合の対応が明確になっているか</td> <td data-bbox="1289 369 1402 432">△</td> </tr> </table>	[No. 43]	他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか	b		□他害や自傷行為等の逸脱行為がある又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	△		□アセスメントに基づく対応方針に応じたケアが行われているか	△		□他害等の逸脱行動があった場合の対応が明確になっているか	△	
[No. 43]	他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか	b											
	□他害や自傷行為等の逸脱行為がある又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	△											
	□アセスメントに基づく対応方針に応じたケアが行われているか	△											
	□他害等の逸脱行動があった場合の対応が明確になっているか	△											
【コメント】													
他害、自傷などの行為を抱える子どもは、悩み、ストレスの他に、虐待、精神疾患、発達障害など様々な背景が考えられるため、入所前のアセスメントが重要である。児童福祉司、児童心理司、保護所職員は入所前の情報を共有し、子どもの変化に細心のアンテナを張って未然防止に努めているが、万全とは言い難い。自傷、他害等の行為が発生した場合は、他の子どもに及ぼす影響も考慮して、即応できる体制を整えるように努めている。													
[No. 44] 無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 667 507 734">[No. 44]</td> <td data-bbox="507 667 1289 734">無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1289 667 1402 734">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 734 1289 801">□無断外出を行う又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか</td> <td data-bbox="1289 734 1402 801">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 801 1289 869">□無断外出が発生した場合に、その子どもに対して適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1289 801 1402 869">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 869 1289 931">□無断外出があった場合には、その子ども以外に対しても適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1289 869 1402 931">○</td> </tr> </table>	[No. 44]	無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか	b		□無断外出を行う又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	○		□無断外出が発生した場合に、その子どもに対して適切な対応を行っているか	△		□無断外出があった場合には、その子ども以外に対しても適切な対応を行っているか	○	
[No. 44]	無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか	b											
	□無断外出を行う又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	○											
	□無断外出が発生した場合に、その子どもに対して適切な対応を行っているか	△											
	□無断外出があった場合には、その子ども以外に対しても適切な対応を行っているか	○											
【コメント】													
入所時にアセスメントを行い、無断外出の可能性のある子どもについては、引継ぎ等により職員間で共有し未然防止に努めている。無断外出が発生した際は、緊急連絡網で連絡し「無断外出の対応マニュアル」に沿って対処している。なお、無断外出発生後は、児童福祉司や児童心理司と情報を共有し、無断外出から戻ってきた時は、振り返りをして無断外出に至るまでの状況や動機、経緯等を整理し、その後の生活に活かすよう対応している。会議等での報告や決定事項の全職員への伝達が不十分となっている。													
[No. 45] 重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 1189 507 1256">[No. 45]</td> <td data-bbox="507 1189 1289 1256">重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1289 1189 1402 1256">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1256 1289 1323">□一定の重大事件に係る触法少年と思量される子どもの一時保護にあたっては、必要な手続き、支援体制の確保が行われているか</td> <td data-bbox="1289 1256 1402 1323">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1323 1289 1391">□重大事件に係る触法少年の一時保護に適切な居室が確保されているか</td> <td data-bbox="1289 1323 1402 1391">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1391 1289 1453">□重大事件の場合には、他児との関係に関する配慮を行っているか</td> <td data-bbox="1289 1391 1402 1453">○</td> </tr> </table>	[No. 45]	重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか	b		□一定の重大事件に係る触法少年と思量される子どもの一時保護にあたっては、必要な手続き、支援体制の確保が行われているか	○		□重大事件に係る触法少年の一時保護に適切な居室が確保されているか	△		□重大事件の場合には、他児との関係に関する配慮を行っているか	○	
[No. 45]	重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか	b											
	□一定の重大事件に係る触法少年と思量される子どもの一時保護にあたっては、必要な手続き、支援体制の確保が行われているか	○											
	□重大事件に係る触法少年の一時保護に適切な居室が確保されているか	△											
	□重大事件の場合には、他児との関係に関する配慮を行っているか	○											
【コメント】													
重大事件が生じた際には、所内で共有し体制を築いている。他児との関係に配慮し、移動の際は常に職員が付き添い、子どもの所在を確認している。													

[No. 46] 身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 168 507 241">[No. 46]</td> <td data-bbox="507 168 1289 241">身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1289 168 1402 241">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 241 1289 302">□身近な親族が亡くなったことを適切な時期に適切な方法で伝えているか</td> <td data-bbox="1289 241 1402 302">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 302 1289 362">□葬儀等に参加させているか</td> <td data-bbox="1289 302 1402 362">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 362 1289 434">□必要によりグリーフケアやモーニングワークを行っているか</td> <td data-bbox="1289 362 1402 434">△</td> </tr> </table>	[No. 46]	身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか	b		□身近な親族が亡くなったことを適切な時期に適切な方法で伝えているか	○		□葬儀等に参加させているか	○		□必要によりグリーフケアやモーニングワークを行っているか	△	
[No. 46]	身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか	b											
	□身近な親族が亡くなったことを適切な時期に適切な方法で伝えているか	○											
	□葬儀等に参加させているか	○											
	□必要によりグリーフケアやモーニングワークを行っているか	△											
<p>【コメント】</p> <p>一時保護中に親族が亡くなった際には、葬儀に参加できるように努めている。なお、グリーフケア等には取り組んでいないため、今後、一連のしくみを整備していくことが期待される。</p>													
[No. 47] 被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 649 507 723">[No. 47]</td> <td data-bbox="507 649 1289 723">被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか</td> <td data-bbox="1289 649 1402 723">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 723 1289 784">□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか</td> <td data-bbox="1289 723 1402 784">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 784 1289 848">□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1289 784 1402 848">△</td> </tr> </table>	[No. 47]	被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b		□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△		□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	△				
[No. 47]	被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b											
	□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△											
	□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	△											
<p>【コメント】</p> <p>受理をした時点で、子どもの養育環境や成育歴、受けた虐待状況等を職員間で把握、共有している。子どもへは、日常的な言葉かけや日記を通して気持ちを受け止める対応等に努めている。子どもと職員へのトラウマ教育が必要と考えているため、計画的な実施が望まれる。</p>													
[No. 48] 障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 1064 507 1137">[No. 48]</td> <td data-bbox="507 1064 1289 1137">障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか</td> <td data-bbox="1289 1064 1402 1137">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1137 1289 1198">□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか</td> <td data-bbox="1289 1137 1402 1198">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1198 1289 1258">□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1289 1198 1402 1258">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1258 1289 1323">□障害を有する子どもの受入にあたり、他の子どもに対する障害への理解を深めるなどの取組みがなされているか</td> <td data-bbox="1289 1258 1402 1323">△</td> </tr> </table>	[No. 48]	障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b		□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△		□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	△		□障害を有する子どもの受入にあたり、他の子どもに対する障害への理解を深めるなどの取組みがなされているか	△	
[No. 48]	障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b											
	□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△											
	□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	△											
	□障害を有する子どもの受入にあたり、他の子どもに対する障害への理解を深めるなどの取組みがなされているか	△											
<p>【コメント】</p> <p>障害のある子どもについて、障害の特性や一人ひとりの発達や置かれている状況に応じた個別の対応が必要である一方、知的障害や自閉症スペクトラムの子どもが集団生活を強いられる状況がうかがえる。個別ケアを対応できる時もあるが、日々の活動量が少なくストレスにつながることもみられている。子どもの障害特性にあったプログラムを用意して、専門的ケアを行える体制構築に努めるとともに、職員一人ひとりの障害への理解や専門性の獲得のために、スキルアップ研修等や環境改善の検討に取り組んでいくことが期待される。</p>													
[No. 49] 健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="354 1597 507 1671">[No. 49]</td> <td data-bbox="507 1597 1289 1671">健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか</td> <td data-bbox="1289 1597 1402 1671">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1671 1289 1731">□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか</td> <td data-bbox="1289 1671 1402 1731">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1731 1289 1792">□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1289 1731 1402 1792">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="507 1792 1289 1863">□服薬管理や医療行為は適切に行われているか</td> <td data-bbox="1289 1792 1402 1863">○</td> </tr> </table>	[No. 49]	健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	a		□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	○		□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○		□服薬管理や医療行為は適切に行われているか	○	
[No. 49]	健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	a											
	□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	○											
	□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○											
	□服薬管理や医療行為は適切に行われているか	○											
<p>【コメント】</p> <p>健康上配慮が必要な子どもの受け入れは、一時保護所に配置されている看護師、児童福祉司、児童心理司、児相保健師が協力して必要なケアを行っている。看護師は嘱託医師とも連携して適切に対応している。服薬管理は、配薬は看護師が行い、服薬は声出しで名前を確認し複数職員でチェックしている。</p>													

6 安全対策 (NO. 50~52)

[No. 50] 無断外出の防止に努めるとともに、発生時の対応は明確になっているか	第三者 評価結果
[No. 50] 無断外出の防止に努めるとともに、発生時の対応は明確になっているか	a
□無断外出があった場合の対応は明確になっているか	○
□無断外出の未然防止に努めているか	○
【コメント】	
無断外出の対応は、マニュアルに沿って対応している。無断外出の未然防止策は、可能性のある子どもは、職員間で共有し適宜声かけをし、職員配置については常に検討し対処している。無断外出が続く等でやむを得ない場合に、一時保護所の出入口を施錠しているが、本来は望ましいものではないと認識している。	
[No. 51] 災害発生時の対応は明確になっているか	第三者 評価結果
[No. 51] 災害発生時の対応は明確になっているか	b
□火災等の非常災害に備え、具体的な避難計画を作成しているか	○
□避難訓練を毎月1回以上実施しているか	△
□日頃から、消防署、警察署、病院等の関係機関との連携に努め、緊急事態発生時に迅速、適切な協力が得られるように努めている	○
【コメント】	
避難訓練は計画に基づき毎月実施している。所内会議で実施報告をし検討しているが、報告書に振り返りと課題等を記載して、対応力向上につなげていくことが望まれる。また、児童相談所全体での避難訓練は実施しておらず、今年度中に予定となっているため、実施が期待される。	
[No. 52] 感染症の予防に努めるとともに、発生時の対応が明確になっているか	第三者 評価結果
[No. 52] 感染症の予防に努めるとともに、発生時の対応が明確になっているか	a
□感染症の発生を防ぐための対策が講じられているか	○
□感染症が発生した場合の対応が明確になっているか	○
【コメント】	
感染症が発生した際は、感染症対応マニュアルに基づいて対応している。但し、一時保護の子どもの定員超過の慢性化により、隔離部屋の確保が困難な状況もあったが、コロナ禍を経験したことにより、部屋の配置や感染症に対する意識が高まり、感染症の予防対策に努める等で対応力が向上している。	

7 質の維持・向上 (NO. 53, 54)

[No. 53] 一時保護所の運営・業務に関する基本的な対応方針や手順は明確になっているか	第三者 評価結果
[No. 53] 一時保護所の運営・業務に関する基本的な対応方針や手順は明確になっているか	b
□マニュアル等が作成され、職員全体で共有や確認できる体制があるか	○
□マニュアル等の内容の実効性を高めるための取組が行われているか	○
□マニュアル等の内容に基づき、実施されていることを確認する仕組みがあるか	△
□マニュアル等の内容について見直し等が行われているか	△
【コメント】	
一時保護所の業務マニュアルを作成し、職員全体で共有している。毎月の所内会議で業務内容を共有し、マニュアルに基づいて取り組んでいる。また、行事等の反省についても共有し、今後に活かせるようにしている。マニュアルの変更点等は、随時所内会議で確認し太字で記載してわかりやすくしているが、年度末に定期的な見直し作業を行う等の取り組みが期待される。	
[No. 54] 一時保護所としての質の向上を行うための仕組みがあるか	第三者 評価結果
[No. 54] 一時保護所としての質の向上を行うための仕組みがあるか	b
□自己評価が定期的に行われているか	△
□外部評価の仕組みがあり、定期的に行われているか	△
□自己評価や外部評価の結果を踏まえた質の向上のための取組が行われているか	△
□職員間での共有や職員一体となった取組が行われるようになっているか	△
【コメント】	
自己評価は、所内会議で年度末に自己点検をしているが、「自己点検票」や「支援評価票」を活用する等で定期的な支援の振り返りを望みたい。苦情相談対応が総合的かつ継続的に機能する取り組みに期待したい。なお、外部評価は今回が初めてであり、質の向上のために第三者評価を活用し、職員一体となった取り組みができるよう期待したい。	

IV 一時保健所における子どもへのケア・アセスメント（6項目）

1 アセスメントの実施（NO. 55, 56）

[No. 55] 保護開始にあたって、子どもや子どもの家庭に関する情報等が適切に把握されているか		第三者 評価結果
[No. 55] 保護開始にあたって、子どもや子どもの家庭に関する情報等が適切に把握されているか		b
<input type="checkbox"/> 一時保護を行うにあたり、子どもの家庭の状況、心身の状況、性格、成長・発達等の状況を十分に把握できているか		△
<input type="checkbox"/> 集団生活をさせても問題がないかの確認が行えているか		○

【コメント】

保護開始にあたって、インテーク資料や担当児童福祉司等からの情報で子どもの状況を把握している。特に、感染症に関する情報は、事前に確認するよう努めている。定員超過に伴い、個別対応をしたい子どもも集団生活をせざるを得ない状況である。職員は担当する子ども以外の家庭の状況を詳しく把握できていないのが現状であり、共有できる対策の検討に期待したい。

[No. 56] 関係機関等と連携して総合的なアセスメントを行い、支援方針を決定しているか		第三者 評価結果
[No. 56] 関係機関等と連携して総合的なアセスメントを行い、支援方針を決定しているか		a
<input type="checkbox"/> チームで情報共有しながらアセスメントが行われているか		○
<input type="checkbox"/> 総合的なアセスメントに基づく個別援助指針（援助方針）が策定されているか		○

【コメント】

一時保護開始直後に、子どもの背景となる家庭状況や成育歴、身体的成長の状況等の子どもの観察点を明らかにし、担当児童福祉司、児童心理司、一時保護所職員でカンファレンスをし共有している。必要に応じて各職員に情報共有し、援助方針を立てている。

2 個別援助指針（援助方針）の策定及び個別ケアの実施（NO. 57, 58）

[No. 57] 援助指針に沿った個別ケアを行っているか		第三者 評価結果
[No. 57] 援助指針に沿った個別ケアを行っているか		b
<input type="checkbox"/> 個別援助指針（援助方針）に基づく個別ケアを大前提とした子どもの養育・支援が行われているか		△

【コメント】

子どもの実態に応じ、個別に関わる時間を持つ等をして配慮しているが、特性に応じた個別ケアは不十分ことがある。特別なケアが必要な子どもの対応は、職員間で周知、共有し、統一した支援ができるように努めている。

[No. 58] 一時保護中において、子どもの変化に応じた支援方針の見直し等が行えているか		第三者 評価結果
[No. 58] 一時保護中において、子どもの変化に応じた支援方針の見直し等が行えているか		b
<input type="checkbox"/> 子どもとの関わりを通じた子どもへのアセスメントを行っているか		○
<input type="checkbox"/> 子どもの変化に応じた支援が行われているか		○
<input type="checkbox"/> 必要のない長期間の保護が行われていないか		△

【コメント】

子どもの言動やトラブル等の気にかかることがあれば、随時、担当児童福祉司と児童心理司、保護所心理士等に伝え共有している。子どもの変化や対応が困難な場合等は、カンファレンスを実施し検討している。子どもに適宜、見通しを伝える仕組みづくりとして、専任でケースの進行管理等をする児童福祉司の配置が期待される。一時保護後の援助方針が決まっているが、入所施設等に空きがなく措置までにはやむをえず時間がかかっているのが現状である。

3 子どもの観察 (NO. 59, 60)

[No. 59] 一時保護中の子どもについて、行動観察が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 59] 一時保護中の子どもについて、行動観察が適切に行われているか	a
□子どもの全生活場面について行動観察を行っているか	○
□子どもの行動観察の結果を記録しているか	○
【コメント】	
子どもの日常の全生活場面において行動観察を行っている。また、行動観察の結果は記録して、子どもの状況を共有している。	
[No. 60] 観察会議が適切に実施されているか	第三者 評価結果
[No. 60] 観察会議が適切に実施されているか	b
□職員は、業務引継を適切に行っているか	○
□観察会議を実施し、子どもの観察結果の検討・とりまとめが適切に行われているか	△
【コメント】	
業務引継は引継ぎノートに必要事項を記載し、子どもの状況や対応方法等を情報共有している。入所後2週間以内にケースカンファレンスをして、子どもの状況把握と方針の検討等をしている。担当児童福祉司、児童心理司等が参加する週1回程度の観察会議は実施しておらず、仕組みづくりを望みたい。	

V 一時保護の開始及び解除手続き(4項目)

1 開始手続き (NO. 61, 62)

[No. 61] 保護開始にあたり、必要な支援が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 61] 保護開始にあたり、必要な支援が適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子どもや保護者の状況等に応じた必要な支援が行われているか	○
<input type="checkbox"/> 日用品、着替え等を持っていない子どもに対しては、個人として所有できる生活に必要なものを支給又は貸与しているか	○

【コメント】

一時保護について子どもと保護者への説明は、担当児童福祉司より実施している。保護開始の際は、食物アレルギーや病歴等を確認し、安全に生活できるように心がけて受け入れしている。特別な事情を除き、必要な物品は一時保護所で支給又は貸与している。

[No. 62] 一時保護中の子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	第三者 評価結果
[No. 62] 一時保護中の子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	b
<input type="checkbox"/> 子どもにとって心理的に大切な物については、一時保護期間中に子どもが所持できるよう配慮しているか	△
<input type="checkbox"/> 一時保護期間中、子どもが所持する物については、記名しておく等子どもの退所時に紛失していないよう配慮しているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもが所持すべきではないもの、明らかに子どもの所持物でないものがあつた場合には、適切に保管もしくは返還等が行われているか	○

【コメント】

入所時に子どもの所持物を確認し、所持物管理票に記載して管理している（記載しやすいように内容を検討中）。一時保護中に子どもが所持可能としている物は、幼児が手放すことができない「ぬいぐるみやハンカチ」等の心理的に大切な物のみに限られている。一時保護中も私物が使用できることは大切であると職員間で共通認識しているようであるが、管理上、対応できていない。

2 解除手続き (NO. 63, 64)

[No. 63] 保護解除にあたり、関係機関等に対し、必要な情報が適切に提供されているか	第三者 評価結果
[No. 63] 保護解除にあたり、関係機関等に対し、必要な情報が適切に提供されているか	a
<input type="checkbox"/> 一時保護の継続判断を行うために、児童相談所等に必要な情報の提供をしているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護中に得られた子どもに関する情報を適切に引き継いでいるか	○

【コメント】

一時保護中に得られた子どもと家族に関する情報や支援状況は、担当児童福祉司等に円滑に伝えている。また、担当児童福祉司から区及び関係機関等に情報提供している。区には保護解除後に家庭復帰になった際に、適切な支援ができるよう依頼している。

[No. 64] 保護解除にあたり、子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	第三者 評価結果
[No. 64] 保護解除にあたり、子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子どもの所有物は、一時保護解除時に返還しているか	○
<input type="checkbox"/> 子ども以外の者への返還は、適切に行われているか	○

【コメント】

保護解除にあたり、入所時に預かっている子どもの所持物は、所持物管理票にて複数の職員で確認し確実に返還している。教材は大量に預かることが多く、確認作業に時間がかかっている。終了した教材等は、速やかに家庭に返却する対応も必要である。返還にあたっては、解除後のトラブルを避けるため、受領証を受け取っている。また、子ども以外の者への返還は、担当児童福祉司に確認しながら慎重に対応している。